

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ花だより

No.16

今のおすすめは サワギキョウ です



【発見難易度】濃紫色の花です

★☆☆☆☆ キキョウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



大(50~100cm程度)

指の輪くらい

【漢字：沢桔梗】

沢や湿地に生え、桔梗の濃紫色の花が咲くことから名づけられました。毒草としても知られ、麻酔として使われたこともあります。その効能を活かし推理小説でトリックとして登場し、名探偵を大いに悩ませました。大阪府では準絶滅危惧種に指定されています。



↔
＜約4cm＞

一周約1km
所要時間30~40分

夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

ハンゴンソウ キク科 咲いています



【漢字：反魂草】
江戸時代には湿疹、性病、関節炎治療に使われていました。葉先が垂れ下がっており、死者の魂を呼び戻すように見えることから名付けられました。

ナガボノシロワレモコウ バラ科 咲いています



茎に近い部分からではなく、先端から咲き始める花です。遠目から見ると、毛虫の様ですが、近くで見ると1つ1つの小さな穂状花序からできていることがわかります。

ネジバナ ラン科 咲いています



その名の通り花が茎の周りに螺旋状(らせんじょう)に並んで咲きます。学名Spiranthes はギリシャ語のSpeira(螺旋)の単語からできています。右巻き、左巻きの比率はおよそ1:1です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-82-0360
Eメール info@sarobetsu.or.jp
ホームページ『サロエコ』で検索
http://www.sarobetsu.or.jp/
Facebook も見てね!